評価の具体例

※ここに示した例は，啓林館の教科書を使用した場合に考えられる参考例です。学校の実態に合わせて改変して使用してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 評価規準（B規準） | Bの状況に達していない場合の手立て例 |  | Aと見取る子どもの姿の具体例 |
| なにを して  あそぼうかな(単元扉) | 【関心・意欲・態度】  遊び場に行ったことやそこで遊んだ経験を発表したり，自分が知らないことについて友達に質問したりしている。 | ・友達の意見に自分が知っていることを補足させたり，友達の意見のなかから自分の経験を見つけさせたりするようにする。 |  | ・「ぼくも公園行ったことがあるよ，あそこならみんなで一緒に遊べるよ。」など，友達の発言を自分が行ったことのある遊び場と同じかどうか，どんな遊びをすれば楽しいかを考えながら聞いている。 |
| 【思考・表現】  遊び場のルールやマナーを守って，利用することが大切であるということを考えることができる。 | ・公共施設の利用マナーについて分からない子どもには，教科書の絵をもとに説明する。 |  | ・遊び場の施設や設備をもとに，公園にはいろいろな人が来ることやみんなが気持ちよく使う場所であることにふれて，自分の経験から遊び場のルールやマナーを守って，利用することが大切であるということを考えることができる。 |
| 【気付き】  遊び場を利用して，友達と仲よく遊ぶことで，遊びがより楽しくなることに気付いている。 | ・学校での遊びの経験を引き出しながら，友達と仲よく遊ぶことに目を向けさせる。 |  | ・「みんなで遊んだ方がおもしろいよ。」「幼稚園の子がいたら遊んであげよう。」など，遊び場で友達と一緒に仲よく遊ぶことで，自分の遊びが広がったり，遊びがより楽しくなったりすることに気付いている。 |
| みんなの あそびばで  たのしもう | 【関心・意欲・態度】  友達と仲よく遊びながら，自然に親しんだり，活動したりしようとしている。 | ・そばで教師が語りかけたり，楽しい様子を見せたりしながら一人ひとりの子どものしたいことが見つかるよう促す。 |  | ・「一緒に遊ぼう。」と声をかけて友達を誘ったり，草花や虫などに関心をもちながら活動したりしようとしている。 |
| 【思考・表現】  自然環境を生かし，工夫して遊ぶことができる。 | ・友達と見せ合ったり，教師も一緒に作ったりしながら草花遊びのおもしろさに目を向けさせる。 |  | ・春から夏にかけての草花の種類や虫の名前などを，図鑑やたんけんブックを活用して観察したり気付いたりしている。 |
| 【気付き】  春から夏の生き物や自然の不思議さに気付いている。 | ・教師が見つけた生き物や自然の不思議さを教えたり紹介したりする。 |  | ・「虫が多くなったよ。」「つばめが飛んでいたよ。」など春から夏の生き物が増えたことや種類が多くなったこと，それが不思議だということに気付いている。 |
| たのしかった ことを  つたえよう | 【関心・意欲・態度】  自分が見つけたものや遊んだことを，分かりやすく相手に伝えようとしている。 | ・友達の発表を聞いたり，活動した写真や実物などを見せたりして思い出させるようにする。 |  | ・「小さなバッタを見つけたよ，こんなふうに跳ねるんだ。おもしろかったよ。」など自分が見つけたものや遊んだことを発表したあとで聞き手の質問に答えることができる。 |
| 【思考・表現】  見つけたことや遊んだこと，楽しかったことなどを自分なりの方法で伝えている。 | ・振り返りカードなどを見ながら，伝えたいことや発表の仕方を教師と一緒に考えて発表する。 |  | ・カードを見せたり，クイズ形式で発表したり，動作をしたりして自分が見つけたものや遊んだことを，表現方法を工夫して相手に伝えようとしている。 |
| 【気付き】  見つけたことや遊んだことなどを紹介し合う活動のなかで，自分や友達のよさに気付いている。 | ・友達の発表を教師が詳しく説明したり，その子どものよさを他の友達に聞いたりする。 |  | ・「おもしろそうだね。」「わたしもやってみたい。」「そんなことみつけた○○さんはすごいな。」など，友達の発表を聞いたり，自分の活動を振り返ったりすることでそのよさに気付き，次の活動を考えている。 |